

はぎやま

令和六年六月二日発行

第一五五号

東京都立萩山実務学校

東村山市 萩山町一・三七・一

☎〇四一(三四二)六〇一一

大家族のような多職種チームの良さ

東京都立萩山実務学校校長

奥山 隆

今年も、桜の開花とともに新年度を迎えることが出来ました。

昨年四月に萩山実務学校に着任してから、あつという間の一年でした。「萩山の自然に親しむ会」から始まる沢山の行事、関東児童自立支援施設の大会、始業式や卒業式の式典や日々の生活の中で、児童の晴れやかな表情や緊張した様子に接し、児童の変化や成長を見ることができ、嬉しく思いました。

春は異動の季節でもあり、四月から新しい管理課長と自立支援課長が着任し、寮舎や事務所の職員の顔ぶれも変わり、新たな一年のスタートとなりました。

萩山がとても大切にしていることは、児童が新しい環境に移る時や人が代わる時に、職員が児童にとって

どう配慮したほうが良いかという視点で、事前に対応を考えているということです。

児童が見通しを持って不安になつたり、新しい事への戸惑いを抱いたりする時に、事前にその軽減のための動機づけをしたり、大人が寄り添うての参加、児童の気持ちを時間かけて聞いたり、大人とのコミュニケーションを深めるなど、児童の状況に応じて行われています。

寮の担当職員が代わるこの時期に、児童が不安を軽減できるように、個別の面談を実施したり、旧職員を寮のイベントに招待したりし、連続した支援ができるような工夫がされています。寮間研修として、他の寮に行つて支援の状態を学び、他の寮の児童との交流もしています。

児童が不穏な状況の時に、他の寮の職員が協力するばかりではなく、児童の心が煮詰まって混んとしている時に、他の寮の先生や事務所の職員等が声かけや面談をし、児童が気分を変えるきっかけになってくれ

ているのも萩山の良いところです。

児童自立支援施設は、以前は感化院、教護院と呼ばれていて、夫婦小舎制で家庭的な雰囲気や環境が児童の成長にとって意義があると言われていました。現在の全国の児童自立支援施設は、交替制の小舎での形態が殆どになり、その中の家庭的な養育、家庭的な環境とは何かと議論されています。

私は施設が大家族のような多職種チームで機能することが、家庭的な養育だと思っています。安心や安全が保障された生活の中で、児童・職員が異なった情動が醸し出され、様々な困難を抱えた児童と向き合い、困難さを抱えられる力がある環境が家庭的な養育であると思います。

寮舎内（家庭）に問題が起きた時には、寮務統括（家庭であれば父親）がすべてを解決するのではなく、家族的な円環的因果律が機能し、別の職員（家庭であれば母親、祖父母等）や仲間（きょうだい）が解決の糸口になる場合もあります。

また施設は、家庭的な雰囲気の中で、大人とのかかわりを通してアタッシメントの再形成が図られる場です。再形成の対象は児童によって異なり、複数の大人との関係で獲得できる児童と、特定の大人との関係でできる児童がいて、大家族なら多職種のアプローチができやすいです。

萩山には「チーム萩山」という一丸となつて取り組む精神があります。異なった職種の職員や教員が、「児童にとってどうなのか」という視点で、大家族のような支援を展開していくことを、萩山として今後も大切にしていきたいと思ひます。



「萩山の自然に親しむ会」

今年 は雨天のため体育館での開催となりました。子供たちは新しいクラスの仲間や多くの大人たちと一緒に、レクリエーションを楽しみました。

そして、お昼ご飯は、調理の先生方が作ってくださった萩山特製弁当を美味しくいただきました。



かしわ寮 Aさん

私は「自然に親しむ会」に参加してとても楽しかったです。クイズやジャンケンなど色々なゲームがあり、最後はクラスのみんなで大縄跳びをしました。

私が一番楽しかったのは、クイズです。他の寮の先生方と相談して、クイズの答えを真剣に考えました。

また、クラスのみんなが大縄跳びをした時、大縄を回す先生の近くだったので、なるべく高くジャンプするように努力しました。私もみんなも沢山跳べるように頑張りました。

お昼は、みんなで調理の先生達から作ってくださった萩山特製弁当を食べました。春の旬のものがたくさん入っていました。

「クラス紹介」

新年度を迎え、新しいメンバーと新鮮な気持ちで新学期がスタートしました。そこで担任の先生と子供たちから、クラス紹介をしてもらいました。



「二年A組の紹介」

担任 小松裕文

新しい環境に早く慣れ、様々なことに一生懸命取り組んでいこうという気持ちが生徒一人一人から強く伝わってきます。不安を抱えながらも、目の前のことに集中して取り組むことで、これからたくさん成長していくことでしよう。さて、成長をしていくためには様々な困難を経験することでしょう。それらを一緒に乗り越えていけるような、安心して挑戦

できる環境を学年一丸となって作れるように頑張っていきたいと思います。

一年生の学年目標は「正しく自分を表現できるようにしよう」です。自分を表現する方法は言葉以外にもたくさんあります。これからたくさん自分のことを経験して、いろいろな表現方法を身につけていけることを応援したいです。まずは落ち着いた生活を送り、学習に集中して取り組む習慣を作っていきましょう。

「二年A組の紹介」

担任 和泉成俊

窓辺に降り注ぐ暖かな日差しと窓から見える萩山の新緑に心を躍らせ、新年度がスタートしました。二年A組の生徒たちは、緊張がありながらも期待を膨らませて、二年生の授業や行事に取り組んでいます。

二年A組のクラス目標は、一人一人のクラスへの思いを出し合って、決めました。

「萩山の自然に親しむ会」では、一致団結してゲームや大縄跳びに取り組みました。

今、自分がやるべきことに誠実に取り組める力をもった二年A組の生徒たちです。今年一年間、二年生と

しての彼らの成長を近くで応援することができることが本当に楽しみです。

私も生徒たちと一緒に成長できるように、日々頑張ります。

二年A組をどうぞよろしくお願いいたします。

さくら寮 Tさん

二年A組は男子二人、女子二人、カメが一匹で新年度をスタートしました。

今年度、私達を応援してくださる先生方は和泉先生と渡辺先生です。先生方のお話は、つい「クスツ」となるような面白さで毎日楽しく過ごせています。

今年度のクラス目標は、「良、話、何、伸、猪〜」です。意味は「良い生活」「話を聞く」「何があっても取り組む」「伸び代を大切に」「猪突猛進」です。

「こういうクラスにしたい」という一人一人の思いから、一文字ずつをとってクラス目標にしました。

今後一人一人が集中して学校生活を送れるように、またみんながクラス目標を意識していけるA組にしていきたいです。

「二年B組の紹介」

担任 前田朋彦

「ひさかたの 光のどけき 春の日に 静心なく 花のちるらむ。」四月八日は、春の風に誘われて教室の窓から桜の花が舞い込んでくる、そんなクラス開きとなりました。忙しい春風に反して、今年の二年B組は静かで落ち着いたスタートです。一人一人が自分のことに集中し、淡々と、黙々と作業をこなしていく姿は、新しい学年を迎え頑張ろうとする意志を感じさせます。

クラス目標は「極良真楽」。担任の担当教科に沿ってオリジナルの四字熟語を作りました。良いクラスを作っていくこうという気持ちがよく表れた力強い目標です。静かな雰囲気のある二年B組ですが、内に秘めた意志は大きいようです。この「極良真楽」を胸に、それぞれの成長を後押しできる教室にしていければと思います。一年間、よろしくお願い致します。

一寮 Kさん

私たちのクラス二年B組は、五人でスタートしました。一年生の時は一クラスだったので十人ほどでしたが、今は少人数で学校生活を送っ

ています。

授業では、落ち着いた雰囲気の中、学習に集中して取り組んでいると思います。

二年B組のクラス目標は「極良真楽」です。自分たちが立てた目標からそれぞれ漢字一字を抜き出し、四字熟語にしました。それぞれの漢字の意味は「何事にも積極的」、「元気の良いあいさつ」、「真剣な取り組み」、「楽しい雰囲気」です。この目標を日々の学校生活で意識しながら生活していきたいです。

これから一年間、クラス全員で協力し、様々な活動を通して楽しみながら成長できるクラスを作っていきたいです。明るく元気で気持ちの良い二年B組を目指します。



「二年C組の紹介」

担任 田代耕平

教室の外には満開の桜。萩山の美しい自然に囲まれて新年度がスタートしました。二年生になり期待と不安が入り混じり、緊張した表情だっ

た子どもたちでしたが、面談で前向きな決意を聞いて安心しました。一年間の目標や学級目標決めでは、とても真剣に取り組んでいて、二年生として心機一転頑張りたいという想いが伝わってきました。

学級目標は「楽しく優しく」

「あかるく・おんがえる・ささえる・のしく・なまをしんじる・なしをきく・まじめにとりくむ・さしく・くでいられる・らえる」「進んで発言する・よく考える」「みんな自分の個性を輝けるようにする二年C組」になりました。子どもたちと共に一瞬一瞬を大切に過ごし、一年間を楽しみたいと思います。よろしくお願いします。

四寮 Kさん

「二年生」としての一年間をより良いものにするために、クラスの全員でこのような内容の目標を立てました。

① 楽しく、優しく、笑いあえるクラス。

② よく考え、進んで発言する。

③ 一人一人の個性を尊重しあう。

これからは、この学級全体の目標と、私たちの一人一人が立てた目標

と向き合って、良い学校生活が送れるように「二年生として」実りのある一年間を過ごしていきたいと思えます。

「三年A組の紹介」

担任 木幡 祐

最上級生としての自覚を持ち、少し緊張した様子で三年A組がスタートしました。朝の挨拶から気持ちの良い声が響いています。

一年間の目標決めや「三年生になって」と題した作文では、とても前向きな内容を一人一人が一生懸命に考える姿が見られました。その姿から、三年生として頑張ろうという気持ちたちが伝わってきました。

四月に行われた「萩山の自然に親しむ会」では、様々なレクリエーションに楽しく参加することが出来、大縄跳びでは素晴らしいチームワークでたくさん跳ぶことが出来ました。自分の事に集中し、今できる事に前向きに取り組めるクラスにしていきたいと思えます。

一年間どうぞよろしく申し上げます。



四寮 Gさん

僕たち三年A組は男子五人でスタートしました。今年のA組はとても活発で授業中は先生の質問に対してたくさん発言するクラスです。特に数学や英語ではみんなの挙手も多く、意欲的に取り組んでいます。

四月に行われた「萩山の自然に親しむ会」ではクイズの答えをみんなで相談しながら参加することが出来ました。他にも大縄跳びや人間じゃんけんなどのゲームがあり、クラスの皆と楽しむことが出来ました。

三年生になると、進路に向けて自分で考えて、先生に相談することが多くなります。自分の意思をもって先生方との相談を積み重ねて進路を考えていきたいです。



「三年B組の紹介」

担任 小柴陽子

三年B組は、七名でのスタートです。

三年生に進級し、「今年は頑張ろう」という意欲に満ち溢れています。二

年生の時よりも大人になり、学習に一生懸命取り組む姿が見られました。落ち着いた雰囲気の中、自分の事に集中し、何事にも前向きです。

「もう、三年生」時間の速さに驚いていますが、学習やクラブ、寮の生活でも、今できることに全力で取り組める、そんなクラスにしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

二寮

Fさん



私達三年B組は男子四名、女子三名の合計七名のクラスです。

クラスでは空き時間を使って勉強する姿があり、自ら進んで学習に取り組もうとする姿勢が見られます。

三年生は義務教育最後の年です。

これから先の進路は自分で決めて自分で進んでいかななくてはなりません。そのためにも今、大人に相談し、勉強に励み、自分の求める進路を実現できるようにしていきたいです。ま

た、寮や学校で行われる行事のような全体で取り組むものには、事前に準備してくださる先生方に感謝しながらも全力で取り組みたいです。



「三年C組の紹介」

担任 佐藤雅彦

萩山の自然も若草の緑が眩しくなる季節、三年C組は元気な挨拶でスタートしました。進級初日から落ち着いた雰囲気、黙々と目の前のことに取り組む姿を見て、最上級生の意識を一人一人が高く持っていると感じています。

今年度は受験が待ち構えており、不安を感じる生徒も多いかと思えます。担任として、まずは「今」に集中することの大切さを伝えていきます。未来の成功は「今」の努力の積み重ねによって成し遂げられています。漠然とした不安に立ち向かうためにも、「今」に全力を注ぐことができるクラスを生徒と共に楽しみながら、作っていききたいと思えます。

さくら寮 Mさん

三年C組は、男子二名女子三名でスタートしました。担任の先生は佐藤先生です。

三年C組は、挨拶が元気良くて、授業は、静かに受けるクラスです。

三年生になって初めての行事だった「自然に親しむ会」では、最初の〇×クイズでクラス全員が最後の問題まで残れませんでした。

昼食では、クラスのみんなは自分たちが食べ終わった後、率先してお弁当を片付けているところを見ていて、「気遣いのできるいいクラスだな」と思いました。

私は卒業するまでの一年間、誰にでも優しくできて人のためにも自分から動ける人になりたいです。

そのためにも努力は惜しまないでやりたいです。



「三年D組の紹介」

担任 茂木たかよ

今年の三年D組は、スタートから持てる力を発揮しました。

それは四月に行われた「自然に親しむ会」でのこと。三年生になって初めての縄跳びで三十回記録をたたき出したのです。

一人一人の力を発揮すると大きな成果を生み出せる、ということを実感できた経験でした。

学級目標を作るにあたっては、言葉を選ぶところから始めました。皆さんそれぞれが自分の中にある思いを見つめて、完成した目標は「集中・全力・成長 3D」。クラスに掲示されたこの目標を心に留めて、この一年間を進んでいきたいと思えます。どうぞ今年の三年D組を、よろしくお願ひします。

五寮 Nさん

三年D組の学級目標は「集中・全力・成長・3D」です。

この目標は一人一人が三年D組で安心して楽しく授業が出来たらいいなという気持ちを込めたものです。

今のクラスの人数は生徒六名と先生二名です。担任の茂木先生は、す

ごく元気がよく明るい先生です。副担任の榎本先生は英語がスラスラ話せます。

クラスの様子はいつもおだやかで明るくいい雰囲気です。授業中では静かに集中し、何事にも楽しく全力で取り組む姿勢も見られます。

今年の目標である「集中・全力・成長・3D」を卒業まで継続できるように、また一人一人が意識していくことができるように頑張っています。僕もそのために頑張ります。

「高等部の紹介」

担任 飯沼亜輝彦

高等部は、中学校を卒業した年齢の児童が、日中活動を行う場所となっています。

活動の内容は、それぞれに合った学習をしたり、生活をしていく上で必要な様々な知識を学んだり、物作りなどの表現活動をしたりしています。



児童は、自分が興味をもったことに、積極的に取り組んでいて、それぞれが、自分のことに安心して取り組める時間を大切にしています。

児童の進路や目標は、それぞれ異なりますが、一人一人が希望する進路に向けて、挑戦していきることができるよう、支援していききたいと思います。

けやき寮 Nさん

僕たち高等部は、色々な分野の活動に取り組んでいます。その中には、自分の興味がある授業も多いです。

一般教養という授業では、基礎から自分にあつたレベルで学習ができて、苦手なことにもチャレンジしています。僕は、高校進学を目標にしているため、基礎的な学習習慣を身につけられて、とてもいいです。

高等部では、他にも色々なことにチャレンジできそうなので、色々な活動を楽しんでいきたいです。



「生活寮紹介」

寮で暮らす子供たちは学年が上がり、新たな生活が始まっています。子供たちからどんな寮なのか紹介してもらいました。

「一寮の紹介」

一寮 Tさん

一寮は、明るくにぎやかな寮です。でも、時々うるさくなってしまう時もあります。

そんな一寮ですが、その明るさと、にぎやかさは、ここ一番という時にチームワークを発揮する原動力になります。そして、そのチームワークは何かにはチャレンジする勇気や、はじめの一步を踏み出すための大きな力になっていると思っています。

時として、騒がしくなってしまう場面はありますが、仲間たちと楽しく過ごし、前向きに様々な事に取り組める一寮の雰囲気を大切にしたいです。



「二寮の紹介」

二寮 Hさん

二寮は、助け合いと、切り替えがよくできて、笑いが絶えない寮です。例えば、当番の人が出来なくなつた時には、誰かが気づいてくれて助け合いが良くできています。

次に切り替えです。雑談をしているときでも、勉強が始まったとたん静かになり、集中して勉強しています。最後に笑いが絶えないのは、寮のみんなが明るく、よく雑談をして、よく遊んでいるからです。



「三寮の紹介」

三寮 Iさん

昨年度いた先輩たちは卒業し、新三年生が三人、新二年生が一人と新しい先生を三人迎えて僕らの寮が始まりました。

三寮の良い所は伸び代がたくさんあるところと、気持ちの切り替えができることです。

四月に入り、新学年として責任を感じている子や受験に不安をもっている子。または、前向きな気持ちに

なれない子もいるかもしれませんが、ですが、まずはやってみる事です。やらずに諦めるよりやってみる事の方が、気持ち的にも折り合いがつかえます。今後それぞれに様々な不安が出てきてもまずはそれに立ち向かい、そして壁を乗り越えそんな寮づくりをしていきたいと思えます。来年の卒業式で寂しくても「良かった」と笑って卒業できるそんな寮生活でありたいです。

「四寮の紹介」

四寮 Hさん

僕がいる四寮は個性的で元気な児童六人と子供のことをとてもよく考えてくれる先生方五人の計十一人です。

四寮はとにかく笑いの絶えない寮です。休日日課の後の自由時間は、グラウンドに行き、サッカーやキャッチボール、鬼ごっこなどをして遊んでいます。その時間も皆、笑顔で遊んでいます。

四寮の今年度の目標は「基礎礼儀がしっかりとでき、仲間同士助け合い、萩山の先生方から『優秀』といわれるようにする。」という目標でスタートしました。皆でその目標を意識し

て行動しています。僕はそんな四寮が大好きです。

これからの四寮は上へ、上へ行く寮になります。僕がその土台になれるように全力でサポートしていこうと思います。今年度も四寮をよろしくお願いします。

「五寮の紹介」

五寮 Nさん

五寮は、基本的な挨拶、返事マナーが身につけている寮です。挨拶は立ち止まって、相手の目を見て、元気が伝わるような声でしっかりとすることが出来ます。

寮の中では、「やるべきことを先に終わらせる」「楽しむところは笑顔で楽しむ」という形でやっています。活動面では、みんなが一致団結して協力し合いながら作業に出ています。なので、五寮は、様々な農作物や、花壇が出来ています。

もう一つ五寮には、自慢できる点があります。それは、気遣いができる点です。五寮では、みんながみんなに対して気遣いができています。



他の人から見れば、当たり前のように思えるかもしれませんが、そんな五寮を僕は誇らしいと思います。

「六寮の紹介」

六寮 Kさん

僕が入所した時、寮にいる子供は僕一人でした。でも楽しく運動が出来るととても良いと思いました。

本当は子供が自分だけしかないのに寂しい時もありますが、先生方がたくさんお話をしてくれるので楽しいです。お話の中で僕の知らない豆知識も知れるので楽しくてすごいなと思います。

六寮では今、野菜や花、果物を育てています。これからは楽しいことばかりでなく、どんな事も頑張っていきたいです。



「やくら寮の紹介」

さくら寮 Iさん

「ワハハ」「アハハ」と笑い声の絶えないさくら寮は、職員五名、子供七名でスタートしました。元気いっぱいでも時々声をかけられることもありますが、日々頑張っています。寮のメンバーはみんな仲が良く全体で協力することが出来ます。

さくら寮は、相手に自分の考えを伝えたり、相手の考え方を聞いたりとお互いの考えを言い合える、そんな関係を築けているところが良い所です。

さらに個性豊かでユーモアのある先生方と関わることで沢山の気づきを得ることが出来ます。その気づきによって学びを深めることが出来、成長につながられています。私たちはまだまだ伸び代がたっぷりです。頼りになる先生方、信頼できる仲間とともに、これまでの自分を磨いていけるように一人一人頑張ります！引き続き温かく見守ってください。



「かしわ寮の紹介」

かしわ寮 Kさん

今年のかしわ寮はみんな仲良く楽しく自分のことに集中できる寮です。今の寮の雰囲気は、みんな元気いっぱいでも賑やかで、とても楽しい雰囲気です。

かしわ寮では、少しでも寮の人たちが嫌な思いをしないで、いつでも笑顔でいられて、安心して暮らせるように心掛けています。

これからこの一年みんなで協力して楽しく元気で過ごしていこうと思います。

「けやき寮の紹介」

けやき寮 Oさん

僕たちのけやき寮は高校生六人、高等部生三人の合計九人です。施設から高校に通学する人と施設内の高等部に通う人がいるので、人によって日課が異なります。

そして、全員一人の時間を落ち着いて過ごせるようにと、すべての部屋は個室になっています。それに加



えて、高校に通学している人が多いので全員そろって活動する機会が少ないというところも、けやき寮の特徴だと思っています。

最近、畑作業に力を入れていきます。みんなそれぞれ育てたい作物を植えられるように準備をしています。少しでも多くの作物が収穫できるように頑張りたいと思っています。

「クラブ紹介」

顧問の先生に各クラブを紹介していただきました。

「プラスバンド部」

顧問 飯沼亜輝彦

私たちプラスバンド部は、音楽を通じて、たくさんの出会いを楽しんでいます。それは、まず音楽室で渡される楽器との出会いに始まります。そこから、たくさんの出会いを繰り返していきます。

音楽は時代を簡単に飛び越えて、様々な時代と出会うことができます。それこそ、クラシックと呼ばれる時代から、現代まで、音を通じてタイムマシンのように時代を飛び越えることができます。そして、演奏する人も、聴いてくださる方も一緒に、

出会ったモノを皆で共有し、楽しむことができるのが音楽のいいところだと思っています。

今年度もそのような出会いを楽しみながら、活動をしていきたいと思っています。

「サッカー部」

顧問 小松裕文

今年のチームテーマは「楽しんでサッカーに取り組めるチーム」です。人それぞれサッカーの楽しみ方は異なります。キックで思った場所に蹴られるようになった！新しいドリブルの技ができるようになった！など、一人一人が今後の活動を通して、自分なりの楽しみ方を見つけてほしいと思っています。

春のスタートとしては、目の前の練習に一生懸命取り組み前向きな姿勢がみられています。今後も継続していければと思っています。

これから、全員が楽しむことができる環境を大切にしながら、技術や体力を磨いていきます。そして、そ



の成長を自信に変えて、一回りも二回りも心を大きく成長できるように頑張ります。今年度もよろしくお願いたします。



「野球部」

顧問 和泉成俊

【全力！ 集中！ 成長！】
スプリングスクールのミーティングで新たなスローガンを決め、新チームがスタートしました。

今年度の野球部は、四月現在、三年生七名、二年生六名の合計十三名で日々の練習に取り組んでいます。野球を知り、野球を楽しむことを第一に考えて、お互いに励まし合いながら、元気にプレーしています今年度のチームは、向上心が強く、一球一球へかける思い、一球一球へのぞむ姿勢が大変すばらしいです。

全力で打って、走って、守ってそして楽しむ！萩山のCグラウンドに野球部の元気な声が響きわたります。今年度も萩山野球部をどうぞ宜しくお願いたします。

「剣道部」

顧問 前田朋彦



今年度の剣道部は中学生三名でのスタート。人数は少ないながら、稽古に励む姿勢は非常に熱心で、学ぼうとする意志の強さを感じます。スプリングスクールのたった数日間でも、一人一人が自分の剣道を大きく成長させていました。

萩山剣道部の目標は「楽しむ」です。剣道という競技を通して自分の成長を感じ、そのことを楽しんでほしいと思っています。多くの皆さんは萩山に来て初めて竹刀を握りますが、往々にして「初めて」というのは身構えてしまうもの。その反面、「初めて」は自分を大きく成長させてくれます。かくいう私も、萩山で剣道と出会い、世界が広がった一人です。

剣道部の皆さんが、この剣道との出会いを楽しみ、自分の成長のための充実した時間を過ごしてもらえよう応援していきます。一年間、よろしくお願致します。

「編集後記」

春に芽吹いた若葉が成長し、より深い緑色へと成長しています。

萩山では新年度がスタートしました。子供たちは昨年度までお世話になった先生や先輩との別れに寂しさを抱えつつも、新しい環境でも頑張ろうという気持ちが見えます。色々な経験をし、どんどんと成長していく姿は頼もしい限りです。

子供たちがそれぞれの目標に向けて、充実した生活を送れるように、私たち職員は安全で安心感をもって暮らせる環境を整え、成長を支援していきたいと思えます。

これから一年間、関係者皆様に、季節ごとの子供たちの様子をお知らせしていきます。御一読いただければ幸いです。

本年度もどうぞ宜しくお願いたします。



編集長

自立支援課長

田中誠人

文書管理

課長代理（庶務担当）

平野嘉明

事務局

統括課長代理（福祉調整担当）

清水 徹

編集委員

太田佳子

小島みゆき

青木楓愛

妻木奏子

宮崎貴史

石川 集

渡辺亜希子

